

表外漢字 UCS 互換とは、JIS X 0213 の 2004 年改正で第 3 水準漢字に追加された 10 文字です。ここでいう UCS とは ISO/IEC 10646 UCS (Universal Coded Character Set, 国際符号化文字集合) のことです。JIS X 0213 の例示字形を表外漢字字体表に合わせる際に UCS との互換性の問題から設定されたものです。

2004 年改正と表外漢字字体表

JIS X 0213 の 2004 年改正は、2000 年の国語審議会答申「表外漢字字体表」に JIS 漢字コード規格 を合わせることを主眼として行われました。

これにより符号表の例示字形の変更が行われることになりました。包摂規準の範囲内の字体差であることから多くの文字については問題なかったのですが、一部に、例示字形を変えると ISO/IEC 10646 (Unicode) との対応関係に問題を生じるものがありました。

それは、既存の JIS に例示されている字体と表外漢字字体表の字体とが異なり、その両方が Unicode では別々の符号位置を与られている場合です。例えば、「剥」(1-39-77) の JIS X 0213:2000 の規格票に印刷された字体と表外漢字字体表の「印刷標準字体」はどちらも Unicode にあります (U+5265, U+525D)。

こういうものについては、例示字形を変更するのではなく、新たな区点位置に表外漢字字体表の字体を追加することになりました。それが「表外漢字 UCS 互換」10 文字です。

「表外漢字 UCS 互換」の符号位置一覧

これら 10 文字は全て漢字集合 1 面に入っています。すなわち、第 3 水準漢字です。

面区点番号	対応する UCS 符号位置
1-14-1	U+4FF1
1-15-94	U+525D
1-47-52	U+20B9F
1-47-94	U+541E
1-84-7	U+5653
1-94-90	U+59F8
1-94-91	U+5C5B
1-94-92	U+5E77
1-94-93	U+7626
1-94-94	U+7E6B

ただし、「対応する UCS 符号位置」は、当該文字に相当する ISO/IEC 10646 UCS (Unicode) の符号位置です。

備考

これらの文字には 2010 年の常用漢字表の改正で取り入れられたものもあります。つまり「表外漢字」ではなくなったものもあるわけです。しかし、表外漢字字体表そのものが更新されておらず、JIS X 0213 の 2012 年改正でも「表外漢字 UCS 互換」という区分は更新されていません。

参考

- ・ JIS X 0213:2000/ 追補 1:2004
- ・ JIS X 0213 と Unicode の対応表 (当サイト) - このページで配布されている変換表のファイルで、[2004] と印の付いている行が表外漢字 UCS 互換の文字に相当

関連項目

- ・ 表外漢字字体表
- ・ 常用漢字